



IKUMEN AWARD 2016

# イクメン企業アワード 2016

## 受賞企業における取組概要

### 【グランプリ受賞】

(五十音順)

## 株式会社丸井グループ

所在地：東京都中野区 業種：卸売業、小売業 従業員数：5,962人

- ◆ 2012年度に最大7日間有休を取得できる短期育児休職制度を導入。14年度にグループ幹部参集の会議で男性の育児休職取得促進を呼びかけ、育児休職取得率が大幅に上昇（13年度13.8%→15年度65.5%）
- ◆ 育児を事由として、一時的に勤務エリアを限定した働き方に変更できる「エリア限定制度」を導入。現在、男性は57名利用
- ◆ 多様な働き方や両立支援について責任者同士が話し合うワークショップを開催
- ◆ スケジュール管理システムを導入し、全社員のスケジュールの見える化を実施
- ◆ 「男性の育児休職取得率」をKPIとして設定し社内外に公表。全社員で目標を共有し、上司からの声かけやロールモデルの紹介など、達成のための取組を実施

## リコーリース株式会社

所在地：東京都江東区 業種：物品賃貸業 従業員数：670人

- ◆ 2015年度より育児休業を一部有給化し、「育メン・チャレンジ休暇制度」を導入した結果、育児休業取得率が大幅に上昇（13年度20%→15年度76.5%）
- ◆ 「育メン・チャレンジ休暇制度」は、子どもの生まれた男性社員が最低5営業日以上の子育て休業を取得することを求めるもので、本人・直属上司・担当役員に案内メールで取得を推奨
- ◆ 同制度は単に休暇を取得するだけでなく、すべての育児活動を率先して体験することを通じ、男性の意識改革を図ることを目的とするもので、休暇取得後は、本人と配偶者からのコメント付きの育児参加報告書を提出してもらい効果的に実施
- ◆ 記念日休暇として、半期に3日年間6日間の年次有給休暇取得日をあらかじめ各自設定。取得日の前月下旬に取得予定者あて「お知らせメール」を自動送信し、取得促進
- ◆ 所定外労働削減のため、部門別の残業時間の目標値を設定し、①事前申請の徹底、②勤務実績の日々入力の徹底等の取組を実施。2か月連続で目標値未達成の部門には、未達理由と達成に向けた施策についての改善報告書の提出を求めるなど、取組を徹底

## 【特別奨励賞受賞】

(五十音順)

### 大成建設株式会社

所在地：東京都新宿区 業種：建設業 従業員数：8,095人

- ◆ 2016年7月より育児休業のうち最長5日間を有給化。これに合わせて、①「男性の育児休業取得率100%」を目指すトップメッセージの発信、②経営層と有識者とのWLB対談、男性の育児休業に関する社内アンケート結果の社内報掲載など、啓発キャンペーンを実施
- ◆ 勤務時間の繰り上げ・繰り下げは、勤務時間帯のスライドが可能・短時間勤務との併用も可
- ◆ 育児休業取得者によるパパ座談会、父親セミナー、パパ通信（育児情報提供通信）の実施に加え、2012年度より、結婚前のパートナーも参加可能な「パートナーと考える仕事と生活の両立セミナー」を開催
- ◆ 長時間労働の削減に向けた社長メッセージを全社員に発信。2015年11月より実施している、①年間100日以上の日・休暇の確保、②年間を通じた毎月100時間以内の健康管理残業時間の達成、③作業所異動時に取得できる節目休暇取得率100%、の3つの目標を掲げる「トリプル100」運動に、「男性の育児休業取得率100%」という目標を加え、「トリプル100プラス1」運動を2016年7月より実施

### 大和証券株式会社

所在地：東京都千代田区 業種：金融業、保険業 従業員数：8,519人

- ◆ 育児休業開始から2週間を有給化。2020年度までに男性育児休業取得率100%を目標に掲げ、取得した男性社員を社内放送で紹介する等、制度利用を促進し、取得率が大幅に上昇（12年度2%→15年度73%）
- ◆ 2007年より、どんなに遅くとも19時までには退社する「19時前退社の励行」を開始し、各人が限られた時間の中で生産性と効率性を向上させるための方法を考えて実践。資格取得や語学の勉強等、自己研鑽に励む社員が増加（CFP資格取得者 07年度214名→15年度616名）
- ◆ 2016年に子どもの入園式等の行事に合わせ休暇を取得できる「キッズセレモニー休暇」を新設。社内周知のほか、対象者と所属長に案内メールを送信し、取得を促進
- ◆ 役員や部室店長から若手社員までが参加する「ワーク・ライフ・バランス諮問委員会」を四半期ごとに開催。男性の育児休業取得率についても状況を共有し、取得率向上に繋がる施策を検討